第5学年*組 外国語科学習指導案

指導者 T1 青山 祐太 T2 ** **

1 単元名 Unit7 Welcome to Japan.

2 本単元の目標

- (1) 日本の四季や文化などについて、Why do you like~?およびその関連語句などについて、理解することができる。 (知識及び技能)
- (2) 自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、日本の四季や文化などについて簡単な語句や 基本的な表現を用いて、自分の意見や考え・情報などを話し合ったり、伝え合ったりしている。 (思考力、判断力、表現力等)
- (3) 自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、日本の四季や文化などについて簡単な表現を 用いて、お互いの考えや気持ちなどを話そうとしている。 (学びに向かう力、人間性等)

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知①:Why do you like~?	思①:自分のことを伝え	態①:自分のことを伝え、相手のことをよ
およびその関連語句な	相手のことをよく知	く知るために、日本の四季や文化など
どについて理解するこ	るために、日本の四	について簡単な語句や基本的な表現
とができる。	季や文化などについ	を用いて、お互いの考えや気持ちなど
知②:Why do you like~?	て簡単な語句や基本	を話そうとしている。
およびその関連語句な	的な表現を用いて、	態②:相手のことをよく知るために、日本
どを用いて、お互いの	自分の意見や考え・	の四季や日本文化について、簡単な語
考えや気持ちなどを伝	情報などを話し合っ	句や基本的な表現を用いて、お互いの
え合う技能を身に付け	たり、伝え合ったり	考えや気持ちなどを伝え合おうとし
ることができる。	している。	ている。

4 単元について

(1) 教材観

本単元は、小学校学習指導要領解説外国語科の目標(2)ア「身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを伝え合うこと。」を受けて、自分のことを伝えたり、相手のことをよく知るために、日本の四季や文化などについて、短い話を聞いてその概要を理解したり、伝え合ったり、話したりすることをねらいとしている。単元の中盤では、日本の伝統的な遊びや年中行事などを取り上げ、基本的な表現を用いて、クイズを出題する場面を設定することで、児童は目的意識をもって、英語ではどう表現するのか聞いたり、話したりすることができる。また、本教材に登場する日本の伝統的な遊びや年中行事は小学生に馴染みがあるため、基本的な表現を用いて考えを伝え合うことに適している。

(2) 児童観(*人)

本学級の児童は、事前の意識調査で「外国語の学習は好きですか。」という質問項目に対して、*人中*人の児童が、「好き」と回答した。「好き」と回答した児童の理由としては、「外国語で話すことが好き」が*人、「聞くことが好き」が*人、「書くことが好き」が*人であった。「好き」と回答した児童の実態を見てみると、「外国語を話すこと」の活動を積極的に行うことで楽しさを感じているようである。一方で、外国語の学習は「嫌い」と回答した*人の児童の実態として、「外国語を話すこと」が*人、「聞くこと」が*人、「書くこと」が*人という結果であった。このことから、Small Talkや発表の時に、不安や苦手意識を感じたまま授業に参加していることが明らかになった。これまでも各単元末にパフォーマンス課題を行ってきたが、自信をもって発表できない児童や、自信がもてず、発表の声が小さくなってしまう児童が多かった。しかし、「外国語の学習で、自分が一番楽しく学べるものを選んでください。」という問いに対して、「ゲームなどを通して、外国語を学ぶこと」では*人、「教室の友達とトーキングタイム(外国語を使って、みんなに質問したり、話したりするこ

と)」では*****人と、教室の友達とゲームやトーキングタイムなどをすることに楽しさを感じながら 学習に取り組んでいる児童が多いことが分かった。

(3) 指導観

教師用デジタル教科書や学習者用デジタル教科書を、単元を通して必要とする場面で有効活用することにより、個々の児童のペースで学習を進めていく。各児童が必要だと考える単語の音声を聞き、発音することで、英語を話すことを苦手とする児童も自信をもって学習に取り組むことができると考える。また、第1時に単元のゴールを提示することで、学習の見通しをもつことができるようにする。児童には、Small Talk やチャンツなどそれぞれの学習場面が関連していることを理解させ、終末まで興味・関心をもって学習に取り組ませたい。そのためには、授業開始の外国語での挨拶やチャンツを通して外国語を繰り返し発音し、外国語を話すことに対する苦手意識を軽減できるようにする。また、教師とのやり取りだけでなく、児童間でやり取りする場面を設定していく。本時で行う「Three hint quiz」では、第1時より繰り返し発音・学習している単語を使用した友達とのコミュニケーションを設定することで、外国語を発音したり読んだりする楽しさを味わわせたいと考える。その際、オクリンクを使用してALTが収録した動画を見ながら発音練習をした後に、友達とコミュニケーションを行う。また、友達とのトーキングタイムを行った後、児童一人一人が収録したクイズを聞いて答える活動を行う。児童同士で考えたクイズを聞き合い、互いに答え合う活動を通して、外国語を話すことに対する苦手意識が減り、話す力が育つのではないかと考える。

5 単元の指導計画(8時間扱い)

5	ヤル	の指導計画(8時間扱い)		
次	時	学習活動・活動 評価方法		
1	1	学習の見通しをもち、基本的な表現を知ろう。	知①:why do you like~?などの	
		・デジタル教科書の動画やチャンツ、ペア学習を通し	表現について理解している。	
		て、単語と基本的な表現を知る。	【発言・ワークシート】	
	2	日本の四季や文化について聞き取り、どんなものが	知②:日本の四季や文化などにつ	
		あるかを探してみよう。	いて、聞き取る技能を身に付	
		・英語の音声を聞き、日本の四季や文化にはどんなも	けている。 【観察】	
		のがあるかを聞き取る。		
		・学習者用デジタル教科書で、日本の四季や文化の単語		
		を何度も発音したり、聞いたりする。		
	3	日本の遊びや年中行事について、たずね合う練習を	態①:日本の遊びや年中行事を調	
		しよう。	べ、簡単な語句や基本的な表	
		・発表のグッドモデルを確認する。	現を用いてお互いの考えを英	
		・日本の遊びや年中行事を調べ、簡単な語句や基本的な	語で表現しようとしている。	
		表現を用いて話す練習をする。	【ワークシート】	
	4	日本の遊びや年中行事について、クイズ形式で友達	思①:友達とのやり取りの中で、	
		と伝え合おう。	簡単な語句や基本的な表現を	
	本	・発表のグッドモデルを確認する。	用いて、自分の意見や考え・	
	時	・日本の遊びや年中行事を調べ、基本的な表現を用い	情報などを話し合ったり、伝	
		て、お互いの考えを英語で表現する。	え合ったりしている。	
		・オクリンクで動画を作成し、クイズを行う。	【観察・オクリンク】	
2	5	好きな季節やその理由、行事でどんなことをするのか	態②:日本の四季や行事などにつ	
		たずね合おう。	いて、適切な表現方法を用い	
		・日本の四季ポストカードに好きな季節の行事などに	て、お互いの考えや気持ちな	
		ついての絵などを描く 。	どを伝え合おうとしている。	
		・好きな季節(行事)とその理由についてペアをつくっ	【観察】	
		てたずね合う。		

次	時	学習内容・活動	評価方法
2	6	作った四季ポストカードを使って、日本の素敵を紹	思①:自分のことを伝え、簡単な
		介しよう。	語句や基本的な表現を用いて
		・チャンツで学習している表現で話せるように練習す	自分の意見や考え・情報など
		る。	を話し合ったり、伝え合った
		・作った四季ポストカードを使って、好きな季節や行	りしている。
		事ですることを紹介し合う。	【観察・ポストカード】
	7	世界に広がる日本文化について考え、世界と日本の	態②:外国語の背景にある文化に
		文化をもっと知ろう。	対する理解を深めるために、
		・外国人旅行者が日本のどんなところに魅力を感じる	日本文化について、簡単な語
		のかを考え、発表する。	句や基本的な表現を用いて、
		・外国の人にどんな日本文化を紹介したいかを考え、	お互いの考えや気持ちなどを
		ペアで紹介し合う。	伝え合おうとしている。
			【観察】
	8	英語と日本語との違いを知り、世界と日本の文化を	知②:外国語の背景にある文化に
		もっと知ろう。	対する理解を深めるために、
		・ 動画に登場する日本在住の外国人の話を聞いて、分	日本に住む外国出身の人につ
		かったことを書く。	いて、話や気持ちなどを聞き
			取る技能を身に付けようとし
			ている。 【ワークシート】

6 本時の学習

(1) 目標

友達とのやり取りの中で、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考えを伝え合うことができる。 (思考、判断、表現等)

(2) 展開

(2)	(2) 展開		
時間	学習内容・活動	指導上の留意点・評価(評価は◎)	
0	1 挨拶をする。	・明るく元気に挨拶をし、楽しい雰囲気にする。	
		(T1, T2)	
2	2 ウォームアップをする。	・今日使う語句材料を発音し、自信をもって活	
	・日付、天気の確認をする。	動に取り組めるようにする。 (T2)	
	・チャンツを行う。	・Small Talk を行う前に、デジタル教科書の音	
	・Small Talk をペアで行う。	声を聞き、正確な発音ができるよう指示する。	
		(T1)	
7	3 本時の学習課題を知る。	・本時のめあてを確認し、児童が見通しをもって	
	日本の状態のケーケーファーンマーク	活動に取り組めるようにする。 (T1)	
	日本の遊びや年中行事について、ク	・ALTが事前に収録したクイズの作り方をオ	
	イズ形式で友達と伝え合おう。	クリンク上で視聴し、友達同士でクイズを出	
10		し合うことを確認する。 (T1)	
	4 本時の活動に取り組む。	・聞き取れない部分や繰り返し表現したいもの	
		があった場合は、学習者用デジタル教科書の	
	(1) ALTと教師の例を見て、クイズ	単語や動画を巻き戻して繰り返し聞いてもよ	
	のイメージをもつ。	いことを伝える。 (T1)	
		・クイズを出す時には、日本の遊びや年中行事に	
	(2)個人でクイズを考える。	関するキーワードを三つ出すことを伝える。	
		(T1 · T2)	
	(3)友達同士でクイズを出し合う。	・あらかじめクイズで使いたい単語の発音を学	
		習者用デジタル教科書から聞いてもよいこと	
		を指示する。 (T1)	

時間	学習内容・活動	指導上の留意点・評価(評価は◎)
		・発音の仕方が分からない時は、ALTや教師に
	〈予想される児童の反応〉 ・spring、cherry blossoms、hanami- bento → hanami	発音してもらうよう指示し、机間指導をしな
		がら助言する。 (T1、T2)
		・最初は、決められたペアで行い、次は違う友達
		を2人~3人探し、クイズを出すように指示
	• winter, many presents, Christmas	する。 (T1)
	cake → Christmas	・時間を5分程度設定し、2~3人交流が終わっ
		てしまった時は、その他の友達にもクイズを 出してもよいことを指示する。 (T1)
35	│ │ (4)オクリンクで収録して作ったクイ	・オクリンク上で、クイズを作り、友達同士で送
30	(4) オラッシン (収録して下りた) ズを使って交流する。	「カラリンラエで、ライスを作り、及建門エで区 り合う。
		・オクリンクを使ったクイズを出し合うことに
		より、他の児童と更にトークをできるように
		する。
		・クイズを作ることが難しい児童には、オクリン
		ク上で選びやすい単語を挙げておき、選べる
		ようにする。
		◎友達とのやり取りの中で、簡単な語句や基本
39	5 全体で共有する。	的な表現を用いて、お互いの考えを伝え合っ
		ている。 (観察・オクリンク)
42	6 振り返りをする。	・今日の学習からどんなことができるようになした。
	・タブレットを用いて、グーグルフォ	│ ったかについて書くよう助言する。 (T 1) │
	ームで行う。	- 次時。の音欲晦却にのねがるとるに 三年とく
45	 7 終わりの挨拶をする。	・次時への意欲喚起につながるように、元気よく 挨拶する。
40	1 飛知りの疾疫でする。	挨拶する。 (T1、T2)